

「2024 年度国際園芸博覧会会場実施設計等業務委託」
のプロポーザルに係る提案書評価基準

表 1 の評価項目及び配点ウエイトのもと、評価を行います。
各評価項目の評価の着目点は表 2 のとおりとします。

表 1 基本的事項

評価項目 (配点)	評価の着目点		配点	評価	評価点
業務実績 (30 点)	管理技術者	同種・類似の業務実績	10		
	担当技術者	業務遂行に必要な資格（当該業務に関連する部門の技術士）を有する技術者が適正数配置されているか	10		
		同種・類似の業務実績	10		
提案内容 (80 点)	【課題 1】 関係者及び関連業務が多岐にわたる園芸博の事業において、本業務の具体的な実施方針、実施体制・業務全体の進め方（情報共有・調整方法等）について留意点を踏まえ提案してください。		40		
	【課題 2】 実施設計が優れたものになるよう、国際園芸博覧会の事業特性を踏まえ、会場建設費を抑えつつ、開幕までの限られた期間内で実施できる効果的な取り組みについて、具体的に提案してください。		40		
ヒアリング (40 点)	理解力や専門技術力があるか		20		
	取り組み意欲が感じられるか		20		
ワーク・ライフ・バランスに関する取組等 (6 点)	次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員 101 人未満の場合のみ加算）		1		
	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員 101 人未満の場合のみ加算）		1		
	次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみんマーク）の取得、又は女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定（えるぼしマーク）の取得		1		
	青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定の取得		1		
	障害者雇用促進法に基づく法定雇用率 2.5%を達成している（従業員 40.0 人以上）、又は障害者を 1 人以上雇用している（従業員 40.0 人未満）		1		
	健康経営銘柄、健康経営優良法人（大規模法人・中小規模法人）の取得		1		
業務遂行能力 (15 点)	事業経費の積算は妥当で、費用対効果が高いものとなっているか		15		
評価点の合計（171 点）					

評価方法

- (1) 業務実績及び業務遂行能力は、A、C、Eの3段階評価を行う。
- (2) 提案内容及びヒアリングは、A、B、C、D、Eの5段階評価を行う。
- (3) 評価点については、次のように配点を行う。

配点にA=5/5、B=4/5、C=3/5、D=2/5、E=1/5を乗じて算出する。

ア 業務実績の各項目

配点 10点 A=10点、C=6点、E=2点

イ 提案内容の各項目

配点 40点 A=40点、B=32点、C=24点、D=16点、E=8点

ウ ヒアリングの各項目

配点 20点 A=20点、B=16点、C=12点、D=8点、E=4点

エ 業務遂行能力

配点 15点 A=15点、C=9点、E=3点

- (4) ワーク・ライフ・バランスに関する取組等は、各項目を1つ満たすごとに1点を加算する。
- (5) 提案内容及びヒアリングの評価項目において、D、E評価のあるものは原則として選定しない。
- (6) 評価点について最上位の者が2者以上同点となった場合には、評価委員会にて採択を行い、最上位を決定する。
- (7) 業務実績及びワーク・ライフ・バランス及び業務遂行能力に関する取組等は、1者ごとに事務局が評価を行い、評価委員会で承認を行う。
- (8) 提案内容及びヒアリングは、1者ごとに各評価委員が評価を行う。
- (9) 業務実績、提案内容、ヒアリング及びワーク・ライフ・バランスに関する取組等の評価点の合計を評価委員全員分集計し、その合計点を当該提案者の評価結果とする。
- (10) 評価点は、評価委員1名につき満点で171点とし、評価委員全員の合計で171点×5名=855点で満点とする。
- (11) 共同企業体を組成する場合、業務実績は、1者以上の構成員が条件に当てはまることで、該当していることとする。
- (12) 共同企業体を組成する場合、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等は、代表者たる構成員が条件に当てはまることで、該当していることとする。
- (13) 評価委員が欠席した際には、その委員の評価点は無効とし、委員会に出席した委員のみで評価を行う。
- (14) ヒアリングを実施しなかった場合には、ヒアリングに関する評価はC(40点×3/5=24点)とする。
- (15) 提案された見積金額を業務実績、提案内容、ヒアリング、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等の点数の合計点で除した数値を1点あたりの費用金額とし、これが少ないものをより優れているものとする。

見積金額÷(業務実績、提案内容、ヒアリング、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等の合計点) =1点あたりの費用金

表2 評価の視点

評価項目	評価の着目点		A	B	C	D	E
業務実績	管理技術者	同種又は類似の業務の実績は十分か	国際博覧会又は地方博覧会、全国緑化フェア等の国内大規模イベント、大規模集客施設の会場全体にかかる計画立案、設計の業務実績を有する	/	国際博覧会や東京オリ・パラ大会又は地方博覧会、全国緑化フェア等の国内大規模イベント、大規模集客施設の会場個別施設にかかる計画立案、設計の業務実績を有する	/	A又はCに該当しない
	担当技術者	業務遂行に必要な資格（当該業務に関連する部門の技術士）を有する技術者が適正数配置されているか	業務遂行に必要な資格を有する技術者が5名以上配置されている	/	業務遂行に必要な資格を有する技術者が3名以上配置されている	/	A又はCに該当しない
		同種又は類似の業務の実績は十分か	国際博覧会又は地方博覧会、全国緑化フェア等の国内大規模イベント、大規模集客施設の会場全体にかかる計画立案、設計の業務実績を有する技術者が5名以上配置されている	-	国際博覧会や東京オリ・パラ大会又は地方博覧会、全国緑化フェア等の国内大規模イベントの会場個別施設にかかる計画立案、設計の業務実績を有する技術者が3名以上配置されている	-	A又はCに該当しない
提案内容	【課題1】関係者及び関連業務が多岐にわたる園芸博の事業において、本業務の実施方針、実施体制・業務全体の進め方（情報共有・調整方法等）について、留意点を踏まえた明確で適切な提案がされているか	十分な理解に基づいた課題認識で、検討の視点と方向性は具体的で実現性の高い提案である	一定程度理解に基づいた課題認識で、検討の視点と方向性は妥当性のある提案である	どちらともいえない	理解がやや乏しい課題認識で、検討の視点と方向性は妥当性に欠ける提案である	理解が乏しい課題認識で、検討の視点と方向性は妥当性がない提案である	
	【課題2】実施設計が優れたものになるよう、国際園芸博覧会の事業特性を踏まえ、会場建設費を抑えつつ、開幕までの限られた期間内で実施できる効果的な取り組みについて、明確で適切な提案がされているか	検討の視点と方向性は具体的で実現性が高く、かつ創意工夫された提案である	検討の視点と方向性は具体的で実現性の高い提案である	どちらともいえない	検討の視点と方向性の一部は具体性や実現性に欠ける提案である	検討の視点と方向性は具体性や実現性に欠ける提案である	
ヒアリング	理解度・専門技術力があるか	十分な理解に基づいた的確な提案である	理解に基づいた的確な提案である	どちらともいえない	理解がやや乏しい提案である	理解が乏しい提案である	
	取り組み意欲が感じられるか	強い意欲が認められる	意欲が認められる	どちらともいえない	やや意欲が認められない	意欲が認められない	
業務遂行能力	1点あたりの費用金額	業務遂行の費用対効果が1番目に高いもの	/	業務遂行の費用対効果が2番目に高いもの	/	業務遂行の費用対効果が3番目に高いもの	